



## モデル校に続いて13校が推進校に！

2学期から学校安全ネットワーク推進モデル校がスタートし、3学期からは新たに13校が、学校安全ネットワーク推進校として取り組んでいます。

学校・家庭・地域・行政の連携を強化し、多くの人の目で子どもたちを見守る「学校安全ネットワーク」を、自校の実態に応じて整備し、学校防犯体制を推進してまいります。

## 学校安全ネットワーク推進校一覧

本太小、北浦和小、大谷場東小、辻小、大宮東小、三橋小、日進北小、植竹小、春岡小、東宮下小、西原小、城南小、つばさ小

## “Hello Safety” 大谷場小学校

本校では、早い段階から「一人よりみんなの目で」と防犯意識の改変を呼びかけた結果、保護者の皆様の深いご理解と地域の方々の温かいご協力により、ボランティアの数が1学期の10名から20名に倍増という体制で、2学期の防犯活動をスタートさせることができました。

本校の防犯体制の特徴は、午前中は保護者や地域の方々による「防犯見守りボランティア」、午後が学校警備員を中心とした防犯活動ということです。これは、不審者事案が集中する午後の時間帯を専門家の学校警備員中心の体制にすることで、児童の安全性を高めると同時に、保護者や地域の方々には、事案の少ない午前中を担当していただくことで、不安感や負担感なく参加できるよう配慮したためです。

他にも、ボランティアの方々の負担を軽減し効果的な防犯活動を展開するために、次のような工夫をしています。



防犯見守りボランティア打ち合わせ会の様子

○正門と昇降口、中庭を見渡せる大会議室をボランティアの活動拠点として整備し、そこから名札のない来校者に声をかけるなどの「見守り活動」を中心としています。

○ボランティアの人数が多いときには、校地内の巡回も実施しています。

○豊かなかかわり合いを大切にするため、子どもへのあいさつや声かけもしています。

○ボランティアは、少しでも参加しやすいよう、1時間単位で月に1回でも可としています。

○トランシーバーを6台購入し、職員室や教頭、コーディネーター、学校警備員、ボランティアの間で連絡を取り合い、連携を図っています。

○教育委員会から配布された看板に加え、学校自作の「防犯見守り活動中」の大看板を門扉やフェンス等に多数設置し、防犯活動を強くアピールしています。

○毎月末に「防犯見守りボランティア打合せ会」を実施し、翌月の担当日の調整や情報交換等を行い、さらに充実した防犯活動ができることを目指しています。

ボランティアに参加した保護者から「授業参観では見られない子どもの姿も見ることで、思った以上に楽しい」等の声が広がり、ボランティア数は増え続け、現在は1学期の約4倍の37名となっています。本当にありがたいことです。大谷場小学校の「学校安全ネットワーク」は、今後もさらなる広がりが期待されます。



大会議室をボランティアの活動拠点に利用しています。

## 防犯ワンポイントアドバイス



2月16日(水)、各小学校の安全主任をします。学校安全ネットワーク構築の中心となる、学校教職員の危機管理意識を高めることが主な目的です。当日は、埼玉県警本部の講師が、児童の安全を守るための教職員の役割と、さすまたや盾の効果的な使い方を教授します。参加者はこの日までに、学校と保護者及び地域との連携状況を再確認してください。また、防犯カメラが正常に作動し、多くの教職員がモニターできる状態かどうか。防犯ブザーやインターホン、催涙スプレー、ネット、センサー、認証装置などが設置されている場合は、それらの確認・点検をお願いします。多くの人による見守りというソフト面と、これを補完するハード面が相整って、学校防犯体制はさらにレベルアップしていきます。

対象に「学校安全ネットワーク推進研修会」を開催